

| 授業科目(ナンバリング) | IR 論 (CB222) | | | 担当教員 | 井上 英也 | | |
|--|---|-----|------|---------|----------------|------------|-----------------------|
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 2 年・前期 | 必修・選択 | 選択 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ ラーニング の類型 |
| <p>IR とは、「カジノを含む統合型リゾート (Integrated Resort)」の略である。現在、わが国最初の認定を受けた大阪府が 2030 年の開業に向けて準備を進めている。</p> <p>この講義は、IR 施設が整備されることに伴う様々な効果・影響について理解し、国が期待する巨大観光施設に関するバランスのとれた知識を修得することをねらいとする。特に、IR にはホテル、MICE 施設、アトラクション施設等が含まれるため、観光産業の先端的で多様な理解が必要となる。また、IR にはギャンブル・カジノが含まれるため、その本質を正しく理解することが必須である。IR の整備が周辺地域にもたらす懸念事項とその対策についても考える。</p> | | | | | | | ②④⑤ ⑦⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | IR とは何か、そして地域における IR がもたらす影響について、第三者に対して論理的に説明し理解させることができる。 | | | | ・定期試験 ・授業貢献 | 30% 30% | |
| 情報収集、分析力 | 授業の中で提起された課題に関し、情報収集・分析を行ったうえで、自分なりの意見をまとめることができる。 | | | | ・レポート | 30% | |
| コミュニケーション力 | 積極的に授業に参加し、課題を掘り下げて考える習慣を持ち、自分の考えを共有することができる。 | | | | ・授業貢献 | 10% | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | | | | | | | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <p>定期試験 : 30% 持ち込み禁止の論述式で、IR に対する理解度を問う。</p> <p>授業貢献 : 40% 質問、発言などの回数などを観察法で評価する。加えて、授業内の小テストの結果を評価する。</p> <p>レポート : 30% 論旨・形式要件、およびプレゼンテーションをもとに評価。採点后、全体の講評を行う。</p> <p>尚、テスト、課題・レポートなどへのフィードバックは、授業中あるいは Manaba において個別におこなう。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>この講義の前半では、IR とは何か、IR が整備されるとはどういうことなのかについて考察する。後半では、観光マネジメントの観点から IR 施設の運営等についても一段深く学んだ上で、受講生が情報を収集・分析のうえ、提起された課題に関し自分なりの意見をまとめられるようになることを目指す。なお、一部の講義で、外部からのゲスト講師の登壇を予定している。</p> <p>Manaba により、適宜、理解度を確認する。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書 : 特に指定しない。</p> <p>参考書 : 授業の中で適時指示する。</p> <p>指定図書: 「IR (統合型リゾート) で日本が変わる」ジェイソン・ハイランド (著)</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| <p>① IR を構成する事業に関する専門科目の履修を薦める。 ホテル系専門科目ー「宿泊業論」「ホテルオペレーション」「ホテル管理論」および「テーマパーク論」、「MICE 論」</p> <p>② 大阪府における IR 開業に関する動向についての情報を注視する。</p> <p>③ わが国における望ましい IR の姿について自分なりの意見を持ち、他者に説明ができるようなることを期待する。</p> | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|--|---|--------------------------------------|
| 1 | オリエンテーション／授業の進め方 | 講義の全体と流れと受講するにあたっての留意事項等のガイダンスを受ける。 | シラバスを読んでおく |
| 2 | 「IR」とは何か？ | 「IR」とは何かについて、正しく理解する。 | 予: IRに関する情報収集 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 3 | 世界における IR の歴史と日本の IR に期待されていること | ラスベガス、マカオ、シンガポールなど世界における IR の歴史を学んだ上で、日本の IR に期待されていることを理解する。 | 予: 世界の IR を調べる 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 4 | IR が周辺地域にもたらす経済効果 | IR が周辺地域にどのような経済効果をどの程度の期間に渡ってもたらすのかについて理解する。 | 予: 地方経済の状況理解 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 5 | IR の意義と法制度 | IR の誘致を進める理由と、その検討・準備はどのような法制度の下で進められているのかについて理解する。 | 予: 長崎県の現状を調べる 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 6 | 各観光事業と IR との関係 ～IR はホテルであり MICE 施設でありテーマパークだ！～ | ホテル、MICE 施設等の IR を構成する各施設・事業について、正しく理解する。 | 予: IR の構成事業を調べる 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 7 | IR がもたらす仕事 ～900 種類の仕事を紹介します～ | IR が新たにもたらす様々な職種・仕事について学ぶ。 | 予: 観光産業の仕事を調査 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 8 | IR にどうかかわるか考えてみよう | 前半の講義を踏まえ、IR に関わるとしたらどのような関わり方があり得るのか、考え方を学ぶ。 | 予: 前半講義の振り返り 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 9 | 「ギャンブル/カジノ」とは何か ～カジノを理解するための確率論入門～ | 基礎的な確率論を踏まえ、ギャンブルおよびカジノとはどのような娯楽なのかについて理解する。 | 予: カジノの情報収集 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 10 | 世界におけるカジノの歴史と今 ～ヨーロッパ、ラスベガス、マカオ、シンガポール～ | 世界においてカジノがどのように始まり、どのように変化していったのかについて学ぶ。 | 予: カジノの起源を調べる 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 11 | どうやって海外からお客様を連れてくるのか ～IR のマーケティングを学ぼう～ | IR 事業者がどのような方法で海外からお客様を連れてきて、どのようなサービスを提供するのかを学ぶ。 | 予: 観光集客の考察 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 12 | どうやって投資を回収するのか ～IR のビジネスモデルを学ぼう～ | IR のビジネスモデルはどうかっているか、IR 事業者はどのようにして巨額の投資を回収するのかについて学ぶ。 | 予: 投資回収の理解 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 13 | IR と交通インフラ ～IR により飛行機、鉄道、道路、船での移動がどう進化するか～ | IR の誘致に各交通インフラはどのように進化する可能性があるかについて学ぶ。 | 予: 近隣の公共交通理解 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 14 | IR の整備に伴う懸念事項とその対策 | IR 施設ができることによって周辺地域にもたらし得る懸念事項とその対策について学ぶ。 | 予: ギャンブル依存の理解 復: 授業資料の再読および課題提出 |
| 15 | 総括 | これまでのふり振り返り | 本講座のさらなる改善のための提案をまとめておく |